肺高血圧症を有する間質性肺疾患と診断され、トレプロスチニル吸入薬治療を受けた方およびそのご家族の方へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。
本研究の対象者に該当する方で、ご自身の診療情報等を研究目的に利用して欲しくない場合には、恐れ入りますが下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

２０２６年１０月　９日

① 対象者	肺高血圧症を有する間質性肺疾患と診断され、2024 年９月～2026 年６月までの期間にトレプロスチニル吸入薬治療を受けた方			
② 研究課題名	肺高血圧症を有する間質性肺疾患におけるトレプロスチニル吸入薬の有効性・安全性に関する後方視的研究			
③ 実施予定期間	研究承認日から 2030 年６月 30 日			
④ 実施機関	藤枝市立総合病院　呼吸器内科			
⑤ 研究代表者	氏名	藤澤　朋幸	所属	浜松医科大学　内科学第二講座
⑥ 当院の研究代表者	氏名	田中　和樹	所属	藤枝市立総合病院　呼吸器内科
⑦ 使用する検体・データ	診療録（カルテ）から得られる病歴、治療歴、治療効果、副作用、再発、死亡の転帰　等			
⑧ 目的	間質性肺疾患(Interstitial Lung Disease: ILD)は、低酸素血症に伴う肺血管収縮を原因として肺高血圧症(Pulmonary Hypertension: PH)を合併することが知られています。トレプロスチニル吸入薬は、PH-ILD 患者さんの６分間歩行距離を有意に改善させ、努力肺活量の低下を抑制するという効果も示唆されています。本邦においても 2024 年９月に「間質性肺疾患に伴う肺高血圧症」で承認され、実臨床での投与が可能となりました。しかし、実臨床におけるトレプロスチニル吸入薬の有効性や安全性、継続率などは不明です。本研究では、PH-ILD と診断されトレプロスチニル吸入薬が投与された患者さんを対象に、トレプロスチニル吸入薬の有効性や安全性、継続率などを明らかにすることを目指します。			
⑨ 方法	抽出された患者リストに基づき、研究担当者が診療録を確認し、計画書に定める「選択基準」を満たし「除外基準」に該当しないことを確認して、最終的な研究対象コホートを確定する。確定した対象患者さんを、投与開始前の診断、胸部 CT、病理組織、および各種学会の診断基準（ATS/ERS/JRS/ALAT 等）に基づき分類する。			
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2026　年　8　月　31　日		
	病院長承認日	2026　年　8　月　31　日		
⑪ 公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑫ プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は使用しません。			
⑬ 知的財産権	本研究により生じる特許、その他知的財産に関する権利（特許権）は、研究者に属します。			
⑭ 利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑮ 問い合わせ	連絡先	呼吸器内科外来	連絡先	054-646-1111(代表)
	上記連絡先にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。 ※情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、恐れ入りますが 2030 年６月 30 日までにご連絡をお願いします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

院長